

# 旧庁舎跡地・公会堂敷地の民間主導の再開発は区民要求無視！凍結して！ 住民不在の池袋駅周辺の一極集中型開発で

## 大企業は栄えて大多数の区民は置き去り！

豊島区は平成27年、南池袋に新庁舎を建設しました。

今また大切な区民財産である旧区役所の跡地と公会堂敷地を、東京建物・フジサンケイグループ・鹿島建設などの大手ゼネコグループに定期借地で76年間191億円で貸付けようとしています。

その旧区役所の跡地には30階建てのオフィスビルが建設され、その2階から6階は10スクリーンの映画館になります。豊島公会堂はゼネコグループが7階建ての新ホール棟を建設して、そのうちの3階から6階を豊島区が新たに75億円で買い取るという計画です。その他、池袋駅を跨ぐ東西デッキや西武デパート前と新庁舎を結ぶLRT路線(新交通システム)など、ゼネコ中心の開発事業が目白押しです。

### 池袋駅と周辺地域の一極集中型再開発で豊島区はどう変わのでしょうか？

大規模再開発が池袋駅周辺に集中することによって、豊島区全体の賑わいは確保できるのでしょうか？

私たちはそうは考えていません。

昨年の7月に池袋駅周辺が「特定都市再生緊急整備地域」に認定されました。この結果、民間の大資本による再開発のプロジェクトが動き出し、金融支援や税の優遇政策が展開されています。旧区役所跡地や公会堂敷地のまちづくりはこの方針を具体化したものです。

現在地域住民の頑張りや賑わいを保っている地域商店街も少なくありません。JRや西武池袋線等の駅周辺地域も地域住民の頑張りや何とか商店街が成り立っています。



この地域だけが区民の税金を使ってゼネコグループによる住民無視の一極集中型開発が行われることになります。他の地域は置き去りです。区民の切実な要求は切り捨てられ、生活はますます厳しくなり生活環境は悪くなってしまいます。



池袋駅周辺への一極集中が進めば今頑張っている商店街の経営が厳しくなりシャッター商店街が増えていくことになります。自分の住んでいる町の商店街を見てください。この10年間でどれだけの店舗が涙を吞んで閉店に追い込まれていったでしょうか。

### 豊島区の財政運営は再開発優先！ 財政運営は危機的状態に！

豊島区はこの再開発プロジェクトに区民の税金を惜しげもなく注ぎ込んでいます。

新ホール建設も現在の建設予算は75億円ですが、実際に竣工するときにはどのくらいの金額になるのか未定なのです。オリンピックを前にして資材などの高騰で大幅に値上がりすることは目に見えています。

結果はすべて借金として区民に押し付けられます。豊島区の財政運営が危機にさらされることになってしまいます。結局私たちの区民サービスが切り捨てられることになるのです。

### 私たちの要求は切実です！ ところが区民生活への支援は後回し！

こんな財政運営には反対します。私たちの豊島区に寄せる要求は切実です。

- \*消費税率10%引き上げを前に物価が上昇して生活が苦しくなっている。生活支援の政策を実行して。
- \*働きながら子育てができる区立保育園を建設してほしい。
- \*国民健康保険料が高過ぎて払いたくても支払えない。値下げしてほしい。
- \*新庁舎や病院に行きたくても手ごろな交通手段がない。コミュニティバスの運行を実現してほしい、等々。

しかし豊島区はこれらの要求を聞き入れようとしません。

まさに「大企業が栄えて民枯れる」という状態なのです。

豊島区の新庁舎問題を考える連絡会

【連絡先】山口 実 ☎03-3944-9881



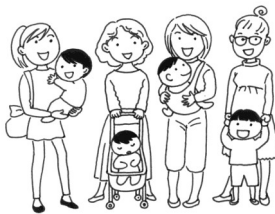
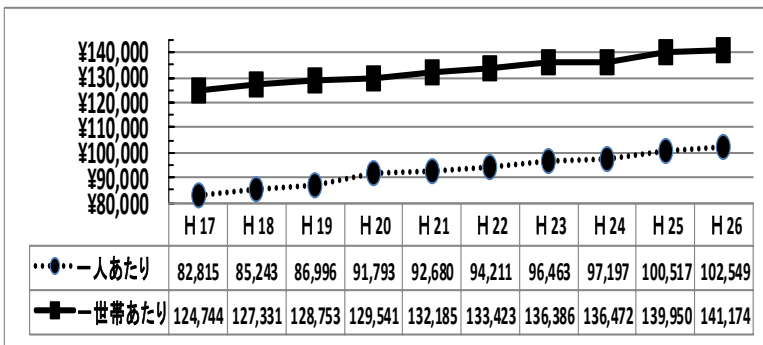
# 私たちの願いはささやかですが切実です！

## 国民保険料の減額と減免制度の充実を！

国民健康保険料が毎年値上がりしています。消費税率の引き上げや物価の値上がりで、日々の生活が苦しくなっているのです、払いたくても払えません。国庫補助を増やし保険料を引き下げてください。生活がたちいか

なくなっている生活困窮者のために減免制度を拡充してください。国民健康保険証の取り上げは憲法違反であり、許せません。全国を見ると、国民健康保険料を値下げしている自治体もあるのです。

一人当たり・一世帯当たりの平均国保保険料10年間推移



## 戦争法推進は許せません！



豊島区議会では自民党・公明党が中心になって憲法破壊の戦争法推進の決議を強行採択しました。絶対に許すことはできません。憲法と地方自治法を守り、国民と区民の安全を保障することこそが地方自治の本旨です。

## 地域の中心に地域センターの建設を！

かつては地域の中心に出張所が有り、そこでほとんどの区の業務がすみしました。ところが現在は大切な区の業務はすべて新庁舎に行かなければならなくなりました。区民、とりわけ高齢者は本当に困っています。身近な場所に住民の要求を聞いて地域センターを建設してください。

## 公立保育園と特別養護老人ホームを区内に大量に建設して！

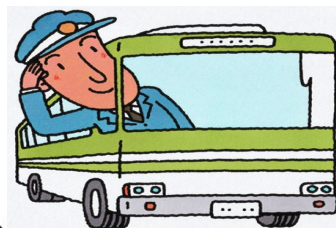
少子高齢化時代を迎えています。豊島区は日本創成会議から「消滅可能性都市」という指摘を受けて、「若年女性の転入が大幅に減少する」のをふせぐため、「選ばれるまちづくり」を加速するとしています。しかし、若者たちが働きながら安心して子育てをするためには、その環境づくりこそが大切なのです。ところが、豊島区は公立保育園を削減しているのです。

公立保育園を建設してください。その道こそが、「持続発展都市」への道なのです。

また、豊島区の特別養護老人ホームの入所待機者は472名です。区民の高齢化が進む中、特別養護老人ホームの区内建設は待ったなしの課題です。

## 現在のLRT計画よりも誰でも利用できるコミュニティバスを区内の隅々に！

豊島区には新庁舎に行くにも、公立病院に行くにも時間と費用がかかる地域がたくさん存在しています。とりわけ高齢者が増えている現在、近所から手軽に利用できるコミュニティバスの必要性はますます大きくなってきています。



昨年、上池袋・駒込・要町の各地域からコミュニティバス運行実現の陳情が出されました。残念ながら陳情は採択されませんでした。豊島区が作成した「豊島区未来戦略推進プラン」でも、人にやさしい交通環境の構築のために、「高齢者社会へ対応と地域の活性化をコンセプトに、区のコミュニティバス構想を補完する路線バス（地域公共バス）に対して支援をする」としています。要求は切実なのです。早急実現してください。